

令和 8 年度の住民健診で大腸がん検診が 無料で受けられます！

ほとんどの大腸がんは早期のうちには「自覚症状がありません」

大腸がんは、大腸（結腸・直腸）の粘膜に発生する悪性腫瘍で、日本では年間 15 万人が大腸がんにかかり 5 万人が命を落としています。早期発見（ステージⅠ）できれば、5 年生存率は 90%以上と非常に高い治癒率を誇るがんでもあります。大腸がんの初期症状は、「日常的な体調不良と区別しにくい」という特徴があります。「最近お腹の調子が悪い」、「便秘と下痢を繰り返してる」といった症状でも、その背景には大腸がんが潜んでいる可能性もあります。

〈症状チェックリスト〉

- 血便がつづいている 便に黒い・赤い血が混じっている 腹痛が続く
 便秘と下痢を繰り返している 急激な体重減少がある。 ガスが増えている
 便が細くなって残便感がある お腹のハリや腹痛が続く

※これらの症状は、必ずしも大腸がんを意味するものではありませんが、気になる症状があるという方は、早めに医師の診察を受けるようにしましょう。

「自宅で簡単にできる」大腸がん検診は便の検査です！

便潜血検査は、2 日分の便を採取する「2 日法」を実施します。大腸がんがあっても毎日出血するとはかぎらないので、1 回の検査では見逃す可能性があります。そこで 2 日にわたって検査することで、検出率を高め、より確実に病気の兆候をとらえるのです。

〈対象者〉

住民票が本村にあり、令和 8 年 3 月 31 日時点で、40 歳、50 歳、60 歳、70 歳、80 歳、90 歳に到達した方は、住民健診の際、大腸がん検診を**無料**で受けられます。

大腸がん検診を受けて、がんを早く
見つけて早く治すことが大事です！

【お問い合わせ】

保健センター TEL 2-2116

